

## 2020年度 小規模多機能ホームえごたの家 事業計画

小規模多機能ホームえごたの家

管理者 手代木 隆久

### 【事業目的】

- ① 要支援、要介護の高齢者が可能な限り住み慣れた自宅及び地域において、本人及び家族が望むその人らしい自立した生活が送れるように小規模多機能型居宅介護の特徴を活かした「支えるサービス」を提供します。
- ② 自立支援、自己決定、日常生活（在宅生活）の継続の三原則を常に踏まえ考えながら、サービスを実践します。信頼のおける安心拠点として将来の不安払拭を図る事を目指します。
- ③ 「生活クラブ10の基本ケア」に沿った「日常生活リハビリケア」が実践出来るように学び実践に努めます。
- ④ 地域密着型サービスとして、地域の方々との関わり・行政・関係団体との連携を深め、信頼関係の構築を目指します。

### 【事業計画（方針）】（事業方針）

- ① 地域の方々にとって頂き気軽に足を運びやすい施設作りを継続して目指します。地域包括支援センター、病院、居宅支援事業所、民生委員、近隣住民などへアプローチし、登録者確保のための営業活動を行っていきます。
- ② 本人及びご家族のニーズを丁寧に聞き取り、その人が望む自分らしい自立した生活が送れるよう3つのサービスを活かしたケアプランを作成します。また、そのケアプランに基づき、一人ひとりに合わせた小規模多機能型独自の介護計画を作成し、実践します。定期的にサービス内容の検討・見直しを行い質の改善に努めます。
- ③ 「生活クラブ10の基本ケア」を基軸とした生活リハビリケア体制を構築するための組織作りを行い、「生活クラブ10の基本ケア」に基づいた啓蒙活動を行うことで、スタッフの介護従事者としての専門性を高め、ケアの質の向上を図ります。
- ④ 地域におけるニーズの把握・収集に努めます。ニーズに沿ったサービスの構築を築けるように検討し実践します。
- ⑤ 近隣地域でのイベント、行政、関係各所の連絡会及び講演会などに積極的に参加して行きます。
- ⑥ 災害対応について、定期的な訓練等を実施し、災害時の対応を整えます。
- ⑦ 地域ふれあいスペースえごた（貸出スペース）を地域の方々にとって頂き活用して貰えるように案内を行います。地域の方々交流ができるようなスペース作りを目指します。

### 【事業計画（予算数値）】

登録者数（名）/介護報酬（万円）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
登録数	3	5	6	9	12	15	18	19	20	20	20	20
介護報酬	59	117	139	223	307	403	499	532	563	563	563	563

### 【会議計画】

- ① 職員会議 全職員対象（毎月実施）

利用者登録状況、登録見込、問合せ件数、実績報告、事故報告書・ヒヤリハットを共有する。  
月間行事・社内研修等の日程・準備状況確認、職員会議の議題を検討する。

②ケース会議 全職員対象（毎月実施）

ケアマネジャーを中心として情報を共有しケアの統一を図る。アセスメント、評価を行う。

③運営推進会議 民生委員、地域包括支援センター職員、ご利用者、ご家族、地域関係者、法人本部職員、管理者等（2か月に1回）

④管理者会議 管理者（毎月）

⑤中野区介護サービス事業者連絡会 小規模多機能型居宅介護部会運営会議  
管理者、介護支援専門員、介護士等（毎月）

### 【研修計画】

①月別の計画（法人全体共通研修に合わせる）

4月 倫理及び法令順守	10月 感染症予防
5月 接遇・マナー	11月 非常災害時の対応
6月 緊急時対応	12月 事故発生予防・再発防止等、安全対策
7月 認知症	1月 認知症ケア
8月 食中毒対策	2月 虐待防止・身体拘束排除
9月 疾病	3月 プライバシー保護

②東京都福祉人材センターの研修活用・中野区介護サービス事業所研修活用  
認知症介護研修・介護職スキルアップ研修に参加予定

### 【年間行事計画】

4月 お花見	10月 外出
5月 外出	11月 紅葉狩り
6月 外食	12月 クリスマス会・忘年会
7月 七夕	1月 初詣
8月 夏祭り	2月 節分
9月 秋祭り	3月 ひな祭り

地域行事参加、ボランティアの方々による行事も計画・検討

以上